

RJSインスペクターシリーズ

VCIRぷりんたいらーずソフトウェア

取扱説明書 v.122512

ムナゾ株式会社

〒658-0032神戸市東灘区向洋町中6-9 神戸ファッションマート10F

TEL078-857-5447 FAX078-857-5443

<http://ag.munazo.us/>

E-mail:munazo@munazo.jp

RJS VCIR(Verifier Computer Interface Report)

ぶりんたいらーずソフトウェアのインストール手順

注記: まず最初に、アンチウイルスソフトウェアプログラムによっては RJS ライセンスプログラムをウイルスプログラムとして認識する場合があります。その為、サイトからいったんダウンロードした VCIR ソフトを、パソコンにインストールする際には、事前にお使いのアンチウイルスプログラムで、VCIR ソフトウェアのダウンロード先フォルダ(C:\Program Files(x86))\RJS Technologies 但し、パソコンが Windows7/64bit の場合)を、スキャン対象から除外する設定を行う必要があります。

*下記はノートンインターネットセキュリティソフトを使用している場合の参考例です。





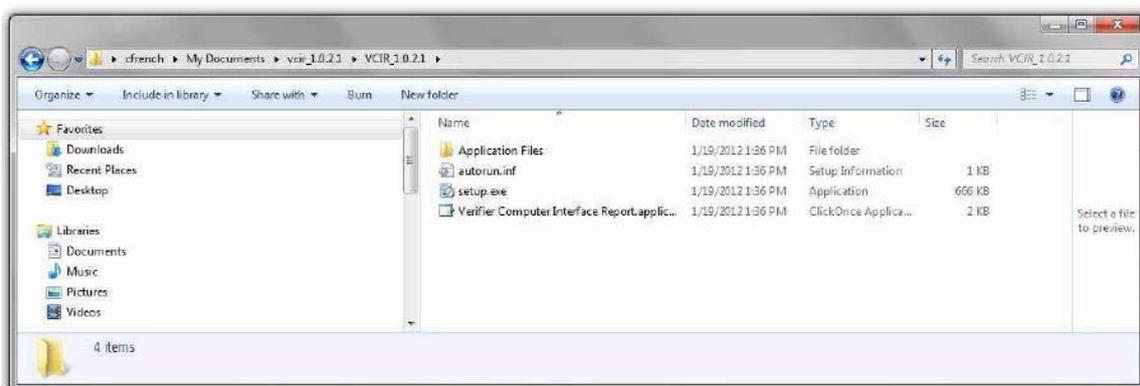
ダウンロードの手順:

ステップ 1 – ソフトウェアをこちらからダウンロード

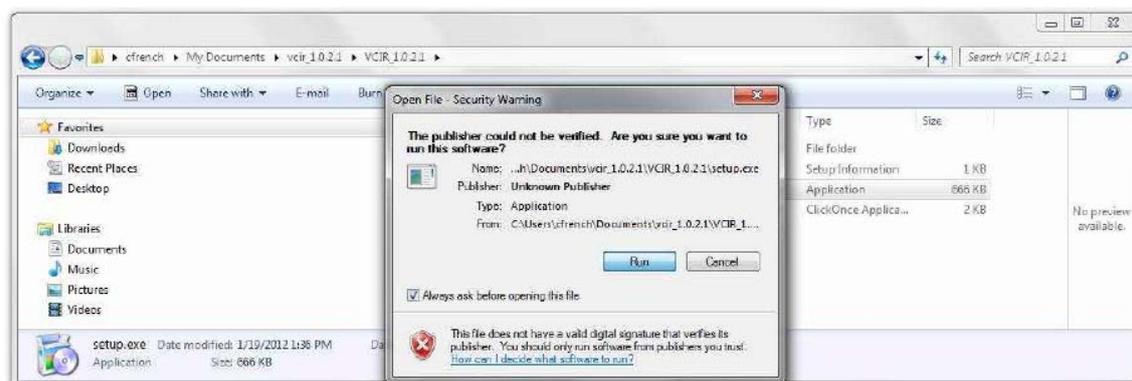
http://www.rjs1.com/downloads/VCIR_Software.zip

ステップ 2 – VCIR_Software.zip file を解凍

ステップ 3 – 解凍されたファイルからフォルダを開き、Setup.exe プログラムを起動してください。他のファイルを起動すると、ソフトウェアが正しくインストールされません。



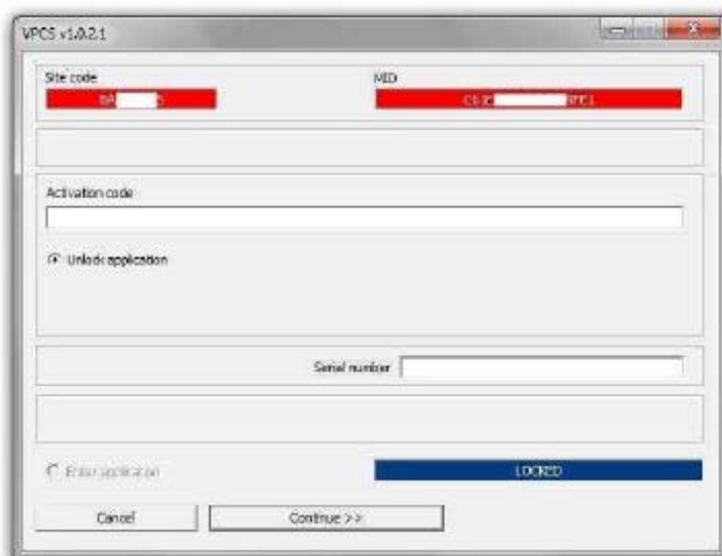
ステップ 4 – ダイアログボックスの Run ボタンをクリック。



ステップ 5 – Install ボタンをクリック。



ステップ 6 – ソフトウェアのアクティベーション画面が表示されます。



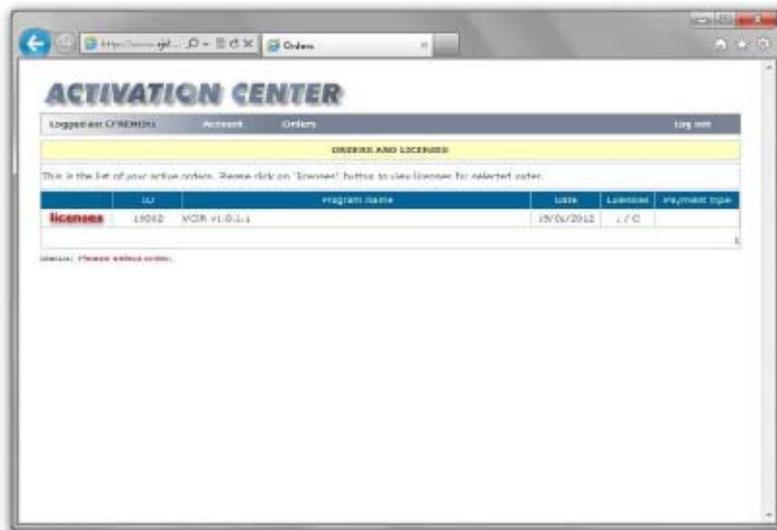
ステップ 7 – こちらからアクティベーションセンターを開いてください。

<http://www.rjs1.com/activation>

ステップ 8 – ユーザー名とパスワードを入力してください。



ステップ 9 – License のリンクをクリックしてください。

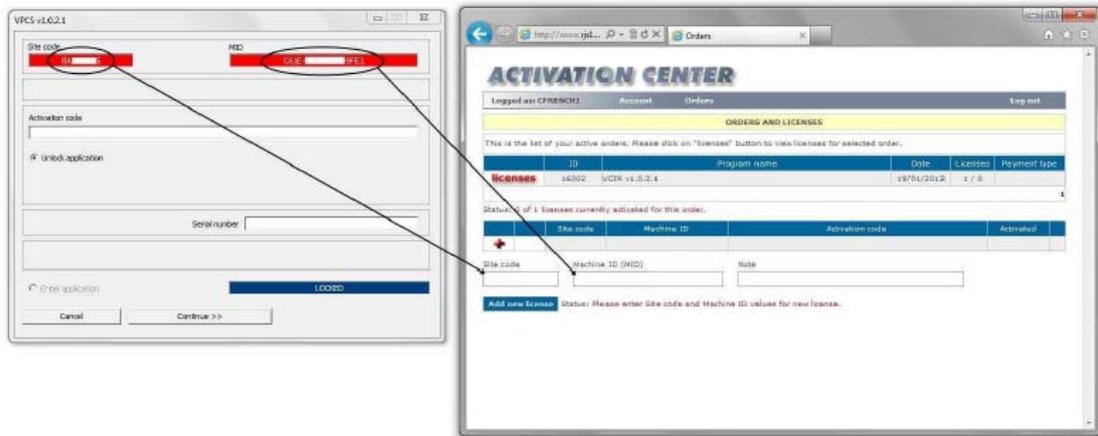


ステップ 10 – + のシンボルをクリックしてください。

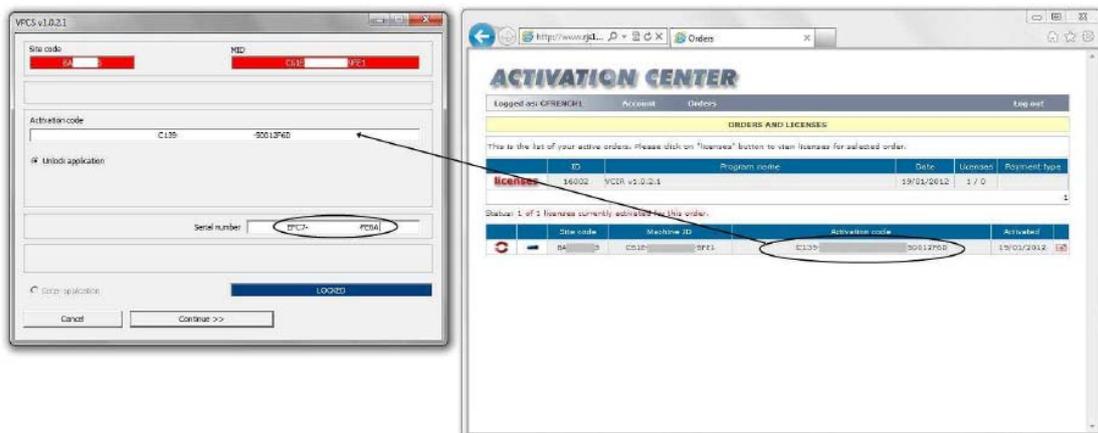


ステップ 11 – Site Code と MID 番号をインストレーションプログラムからアクティベーションセンターへコピーしてください。

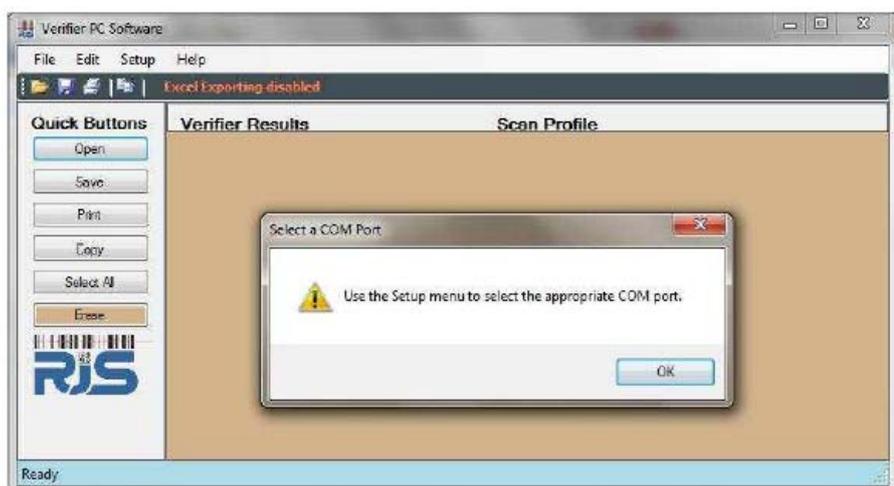
ステップ 12 – Add new license ボタンをクリックしてください。



ステップ 13 – アクティベーションセンターから Activation Code をインストールプログラムへコピーしてください。



ステップ 15 – これにより PC 上でプログラムが立ち上がり、VCIR ソフトウェアプログラムが開始します。ソフトウェアの作業に必要なインターフェイスケーブルについてはマニュアルに従ってください。



インスペクターとWindowsPCとのインターフェースソフトウェアについて:

VCIR(The Verifier Computer Interface Report)プリンタいらずソフトウェアは、RJSインスペクターの検証データを、WindowsPC上で表示/保存(但し、スキャンプロファイルは、インスペクター3000/D4000Aのみ)することができます。各検証データはExcelスプレッドシート上に転送されMS Excelを使って編集/管理もできます。これらのデータはPC接続プリンタで印刷が可能です。

VCIRの主な特徴:

- ・複数のバーコード検証結果が含まれるカスタム検証レポート(Excelスプレッドシート)を生成する。
- ・バーコードの検査報告書データベース(時刻と日付のスタンプ付き)を保持
- ・顧客管理や品質管理のソフトウェアアプリケーションに検証結果を転送することができる。

VCIRソフトウェアRJSインスペクター適用製品:

インスペクターD4000A、インスペクター4000、インスペクター3000、インスペクターD4000L、

インターフェースソフトウェアのインストール方法

注意:ソフトウェアのインストールが完了するまで、すべてのケーブルを接続しないでください

注意:ソフトウェアをインストールするには、ソフトウェアのライセンスコードの入力が必要です。

1. ソフトウェアのインストール手順: http://www.rjs1.com/downloads/vcir_install.pdf

ソフトウェアのダウンロード場所: http://www.rjs1.com/downloads/vcir_1.0.2.2.zip

2. オプションのUSB-シリアルアダプタを購入した場合:

A. www.rjs1.com/Downloads/usb232.zipファイルをダウンロードする

B. デスクトップにUSB232.zipプログラムを保存

B. デスクトップにファイルを解凍する。

C. VISTAまたはWindows7の場合にはPL2303_Prolific_Vista_332102.exe.をダブルクリック

XPまたはWindows2000の場合には、PL2303-Driver_XP2K_v204102.exeをダブルクリック

バーコード検証機とPCとの接続

1. 専用インターフェースケーブルをPCに接続します

2. PC側のコネクタをネジ留めします。

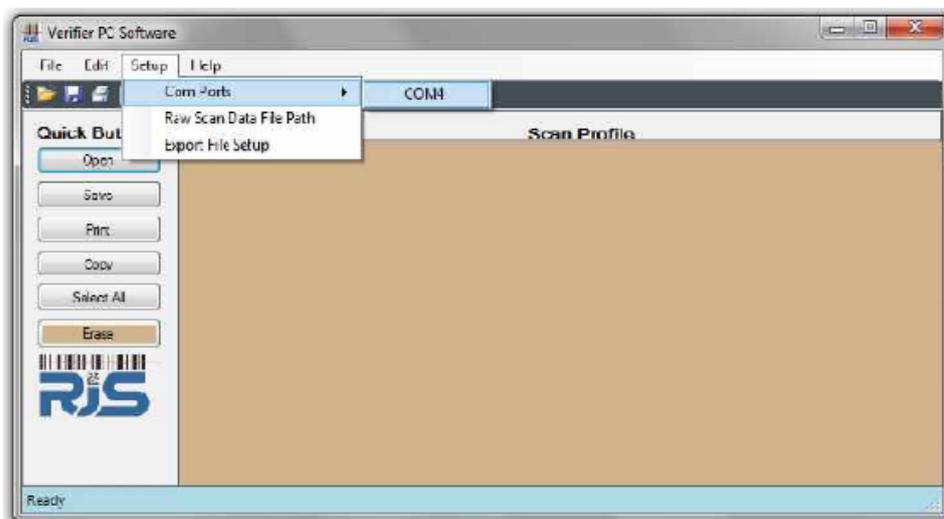
3. 検証機側のプリンタインタフェースコネクタにピンジャックを差し込みます。

4. シリアルCOMポートを決定するために、コンピュータのマニュアルを参照してください。

5. ソフトウェアを最初に使用する時は、ファイルメニューからセットアップおよびCOMポートを選択する必要があります。

注意: 次のパスワード入力が必要です。

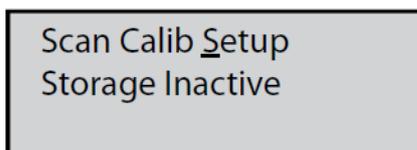
パスワード: blockade



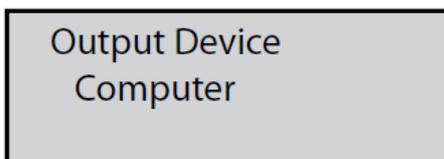
バーコード検証機のセットアップ手順

バーコード検証レポートを転送する前に検証機のセットアップする必要があります。これは一度だけ行います。セットアップ手順を次の通りです。

1. 検証機のEnterキーとSELECTキーを同時に押して下記メインメニューを表示してください。



2. SELECTキーを押してカーソルをSETUPキーの下に移動させます。
3. OUTPUT DEVICE表示ができるまでENTERキーを押し続けてください。



4. Selectキーを押して、COMPUTERを表示させEnterキーを押して下さい。
5. 検証機のEnterキーとSELECTキーを同時に押して再度メインメニューを表示してください。
6. SCANでカーソルが点滅していることを確認してEnterキーを押して下さい。

VCIRソフトウェア側のセットアップ手順

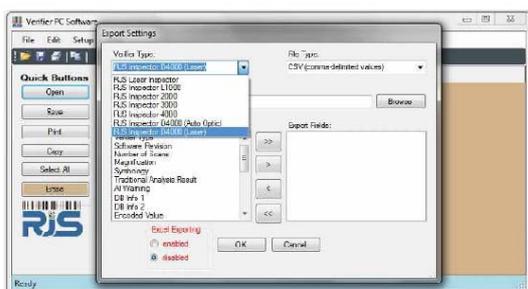
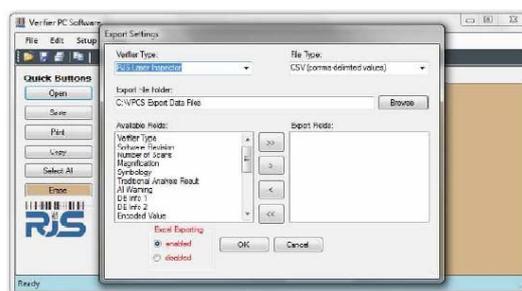
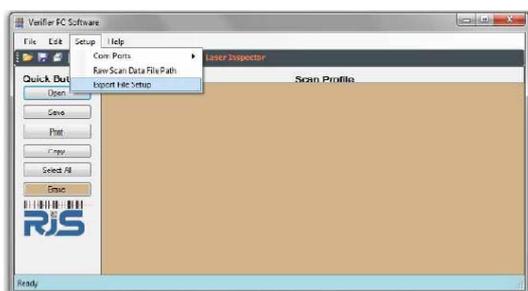
検証レポートを転送する前に、PC側でVCIRソフトウェアのセットアップが次の手順で必要です。

1. まずVCIRソフトウェアを立ち上げます。ファイルメニューから **Setup**と**Export File Setup**をクリックします。

注意:パスワード入力が必要です。

2. Excel Exporting screenが表示されます。(画面上の右)

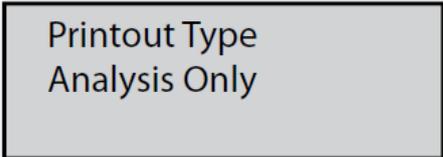
3. バーコード検証機の機種を選択します。(画面下の左)
 4. ファイル形式は、CSV形式になります。
 5. **Export** 先のFile Folderを指定してください。指定がなければデフォルトのC:\¥VPCS Export Data Filesへデータはエクスポートされます。(bottom, right)
- 注意: エクスポート先の保存データの取扱いには、十分なセキュリティー管理が必要です。
6. バーコードの検証レポートが、PCへ転送するデータに含まれるフィールドを選択してください
 - >>をクリックすると、すべてのフィールドをエクスポートします。
 - <<をクリックすると、すべてのフィールドを取り除きます。
 - 利用できるフィールドウィンドウの各フィールドを選択し、>をクリックするとエクスポートフィールドウィンドウに各フィールドが移動します。(シフトキーを押しながら複数のフィールドを選択できます)
 - エクスポートフィールドウィンドウの特定のフィールド名をクリックし、次に<をクリックすることで各フィールドを取り除くことができます。(シフトキーを押しながら複数のフィールドを選択できます)
 7. もし **Excel Exporting file** を起動させる場合は、Export file Setupをクリックします
 8. OKをクリックすることでセットアップは完了です。



Transferring a Single Bar Code Quality Report to the Computer

PCにバーコード検証レポートを転送する。

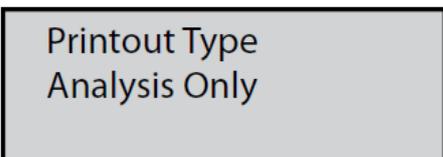
1. バーコード検証機のPrintキーを押す
2. 次にSelectキーをANALYSIS ONLYが表示されるまで押す
3. そして、数秒の間に全データが転送されたことをPCディスプレイ上で確認してEnterキーを押す。



4. VCIRはPCスクリーンの画面の左下に転送状況を表示します。

READY = 検証レポートの転送待ち状態

SCAN RECIEVED = 検証レポートが転送されました。このメッセージは転送が完了するまで表示されます。



注意:

* 検証レポートに表示される日時は検証時の日時ではなく、データ転送した日時が表示されます。

* エクセルファイルは、スキャンデータが保存されるまで作成されません。

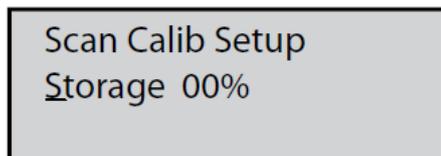
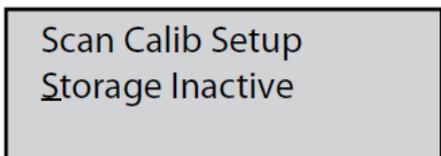
* もし関連付けられているRJV (Verifierのコンピュータインターフェース) ファイルを開こうとすると、開いているCSV (Excel) レポートに、次のメッセージが表示されます。

” A sharing violation occurred.... (共有違反が発生しました....。) ”。これを修正するためには、一旦csvファイル(エクセル)を閉じてから再度開いてください。”

バーコード検証結果の保存

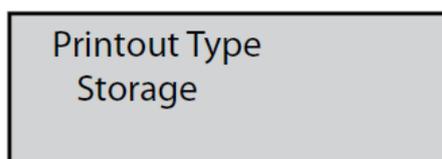
ハンドヘルドタイプのバーコード検証機インスペクターは、一日を通して使用場所を移動する場合がありますので検証後、コンピュータに直ぐ接続できない場合があります。しかし、インスペクターにはデータ保存機能がありますので検証データを都度保存して、最後にまとめてデータを転送することができます。

1. 検証機のEnterキーとSELECTキーを同時に押してメインメニューを表示してください。
 2. カーソルをStorageまでSelectキーを押して移動させます(下記左)。そしてEnterキーを押してInactiveから 00% (下記右)表示に切り替えます。
 3. Selectキーを押して SCANまでカーソルを移動させ、Enterキーを押します。
- これで保存モードは有効となり、すべての検証結果をメモリーに保存します。



検証機のストレージから複数のバーコード品質レポートをコンピュータへ転送

1. 検証機のPrintキーを押します。r
 2. Selectキーを押してカーソルをSTORAGE まで移動させます(下図)
 3. Enterキーを押すと転送が始まります。数秒で 検証レポートは転送を完了しPCに表示します。
- 注意: 日時データは、検証レポートの正常転送完了時の日時が採用されます。



4. VCIRソフトウェアは、画面の左下隅に転送状況が表示されます。
 - SCAN RECIEVED =検証レポートが転送された。このメッセージは検証レポートの処理が完了するまで表示されます。

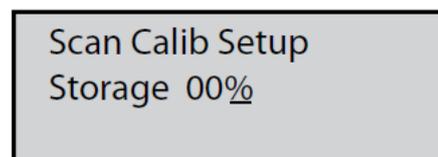
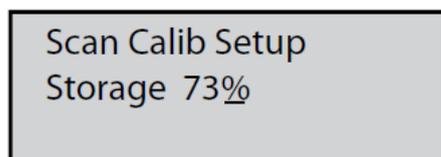
注意:

- * 検証レポートに表示される日時は検証時の日時ではなく、データ転送した日時が表示されます。
- * エクセルファイルは、スキャンデータが保存されるまで作成されません。
- * もし関連付けられているRJV(Verifierのコンピュータインターフェース)ファイルを開こうとすると、開いているCSV(Excel)レポートに、次のメッセージが表示されます。
” A sharing violation occurred....(共有違反が発生しました....。)”これを修正するためには、一旦csvファイル(エクセル)を閉じてから再度開いてください。”
- * RJVファイルが開いている時は、レポート・ディレクトリの中に関連付けられているCSV(Excel)ファイルは表示されません。

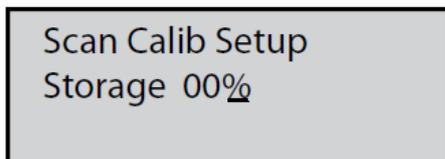
検証機のメモリーに保存された検証レポート全データを消去する。

PCに検証レポートデータを転送した後、検証機のメモリーに保存したデータをすべて消去する。これは新しく検証したレポートを転送する際に、古い検証レポートを重複して転送させないために行います。

1. 検証機のEnterキーとSELECTキーを同時に押してメインメニューを表示してください。
2. Selectキーを押して、カーソルを % まで移動させEnterキーを押して下さい。例えば、 73% (下図左例) が 00% (下図右例)になります。



3. バーコード検証レポートは、ステップ2を繰り返して復元することができますが、新しいスキャンした後は、以前のレポートは失われてしまいます。
4. Selectキーを押して カーソルをSCAN まで移動させ、Enterキーを押します。メモリー内の保存データは全て消去されます。



バーコード検証レポートの印刷(書式なし)

PCに転送されるすべてのデータは、Windowsプリンタに印刷することができます。

プリントアウトを開始するには、次の3つの方法があります。

1. Printボタンをクリックします。
2. ファイルメニューをクリックし、Printを選択します。
3. キーボードの Cntlキーを押しながら Pキー を押します。

バーコード検証レポートの保存(書式なし)

バーコード検証レポートは、任意のローカルまたはネットワーク上の場所に保存することができます。デフォルトのファイル名は"DATE.TIME.rjv"です。その他のファイル名への変更も可能ですが、デフォルトファイル名での使用をお勧めします。Excelのエクスポートが有効になっている場合は、CSV(Excel)ファイルも作成されます。

検証レポートを保存するには、次の3つの方法があります。

1. Saveボタンをクリックします。
2. ファイルメニューをクリック、Saveを選択します。
3. キーボードのCntlキーを押しながらS キーを押します。

保存した検証レポートを開く(書式なし)

検証レポートの保存場所は、デフォルトではマイドキュメント¥ VerifierのReports.folderです。別の場所にディレクトリを変更することもできます。

検証レポートを開くには、次の3つの方法があります。

1. Open Quick Buttonをクリックする。
2. ファイルメニューをクリックし、Openを選択します。
3. キーボードの Cntlキーを押しながら Oキー を押します。

注意:

*関連付けられているcsvファイル(エクセル)のレポートが開いているときにRJV(Verifier Computer Interface)ファイルを開こうとした場合には、次のメッセージが表示されます。

" A sharing violation occurred....(共有違反が発生しました....。)"。これを修正するためには、一旦csvファイル(エクセル)を閉じてから再度開いてください。"

* RJVファイルが開いている時は、レポート・ディレクトリの中に関連付けられているCSV(Excel)ファイルは表示されません。

既存のRJV(Verifierのコンピュータ・インターフェイス)ファイルへの追加、またはcsvファイル(エクセル)レポートに表示されるフィールドの修正

バーコード検証レポートに、新しいバーコードの検査を追加させることもできます。

RJV(VerifierのComputer Interface)のファイルを開く前に、CSV(Excel)に保存するフィールドを選択することができます。

1. 上記のセクションを以下に示します。保存した検証レポートを開きます。
2. 追加した検証レポートを転送します。(必須ではない)
3. <Save> quick buttonをクリックするか、FileをクリックしてからSaveをクリックします。

注意:

* RJV(VerifierのComputer Interface)ファイルを開いて、後で(変更の有無にかかわらず)ファイルを保存すると、csvファイル(エクセル)レポートが、設定で選択されているエクスポートフィールドを再び保存し、エクスポート画面と以前のレポートが上書きされます。

*関連付けられているcsvファイル(エクセル)のレポートが開いているときにRJV(Verifier Computer Interface)ファイルを開こうとした場合には、次のメッセージが表示されます。

” A sharing violation occurred....(共有違反が発生しました....。)”。これを修正するためには、一旦csvファイル(エクセル)を閉じてから再度開いてください。”

* RJVファイルが開いている時は、レポート・ディレクトリの中に関連付けられているCSV(Excel)ファイルは表示されません。

他のアプリケーションに検証レポートを移動する

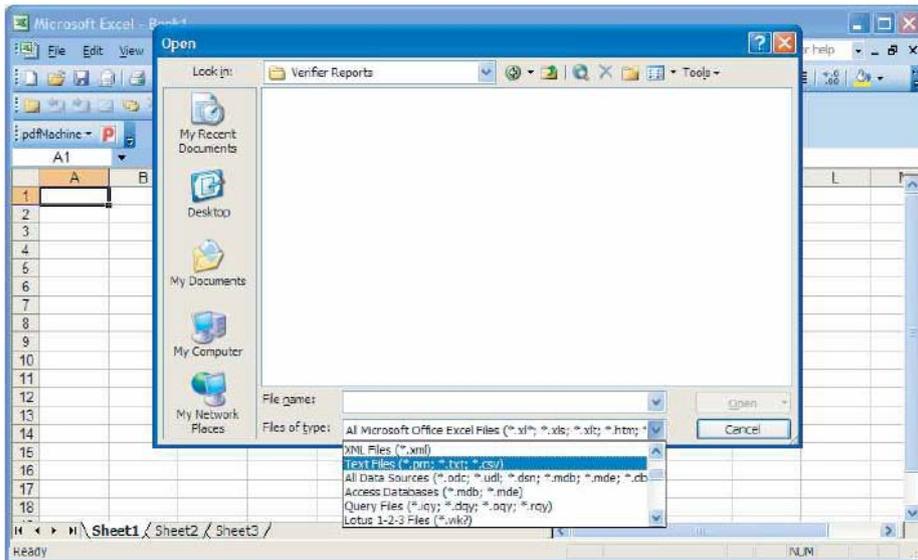
コンピュータに転送されるすべてのデータをコピーして、顧客管理、品質管理、または他のWindowsソフトウェアアプリケーションに貼り付けることができます。

1. PCのマウスを使ってコピーしたいデータを選択します。
2. <Copy> quick buttonをクリックします。
3. 検証レポートを転送したいソフトウェアアプリケーションを開く。
4. データを転送すべきフィールドを選択する。
5. キーボードの Cntlキーを押しながら Vキー を押します。

csvファイル(エクセル)のレポートの表示

RJV(Verifierのコンピュータインターフェイス)ファイルを保存して閉じた後は、csvファイル(エクセル)を開いて複数の検証レポートを見ることができます。CSVファイル(エクセル)は、検証レポートを読み易いよう各行上に各バーコードの品質情報を表示します。

1. RJV(Verifierのコンピュータインターフェイス)ファイルを閉じます。
2. エクセルを開きます。
3. ファイルメニューからファイルを選択して開きます。
4. ディレクトリは、”My Documents¥Verifier Reports” (下図参照)



5. TypeファイルをTEXT FILES (*.PRN; *.TXT; *.CSV)に変更
6. Select which .csv (Excel) report file you would like to view, sample reports are below

注意:

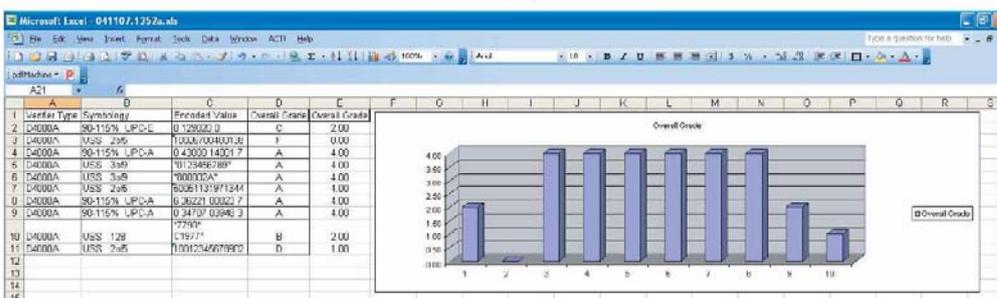
*関連付けられているcsvファイル(エクセル)のレポートが開いているときにRJV(Verfier Computer Interface)ファイルを開こうとした場合には、次のメッセージが表示されます。

” A sharing violation occurred....(共有違反が発生しました....。)”。これを修正するためには、一旦csvファイル(エクセル)を閉じてから再度開いてください。”

*チャートや書式はMicrosoft Excelの標準機能です。

1	Verify Type	Number of Counts	Scan Date	Scan Time	Symbolset	Encoded Value	Overall Grade	Err Detection Stat	Reference Decode Grade	Decodability %	Decodability Grade	Symbol Contrast %	Symbol Contrast Grade	Modulation %	M
2	D4000A	1	4/11/2007	14:09:48	USS 2a6	1001294626990	D	0-----+	F	95%	F	45%	C	61%	
3	D4000A	1	4/11/2007	14:03:52	USS 128	7790* C1877*	C	----RPAR+++	A	48%	C	88%	A	70%	
4	D5000A	1	4/11/2007	14:02:58	90-115% LPC-A	0 34707 03846 3	A	----RACB+++	A	86%	A	28%	A	28%	
5	D4000A	1	4/11/2007	14:04:00	90-115% LPC-A	6 30221 03832 7	A	----RACB+++	A	65%	A	81%	A	65%	
6	D4000A	1	4/11/2007	14:04:04	USS 2a6	60061181791344	A	RRAR+++++	A	62%	A	29%	A	61%	
7	D4000A	1	4/11/2007	14:04:33	USS 3a9	*900003A*	A	RRAR+++++	A	73%	A	81%	B	73%	
8	D4000A	1	4/11/2007	14:04:30	USS 3a9	*1E16P7401900112072*	A	RRAR+++++	A	67%	A	75%	A	67%	
9	D4000A	1	4/11/2007	14:04:43	90-115% LPC-A	0 30221 03832 7	A	RRAR+++++	A	58%	B	77%	A	60%	
10	D5000A	1	4/11/2007	14:01:49	USS 2a5	1 03621 E+12	F	----RACB+++	F	95%	F	57%	B	64%	
11	D4000A	1	4/11/2007	14:04:53	90-115% LPC-A	0 12620 0	F	----RRA+++	A	64%	A	79%	A	64%	

Detailed Report View



Simple Report View with Chart